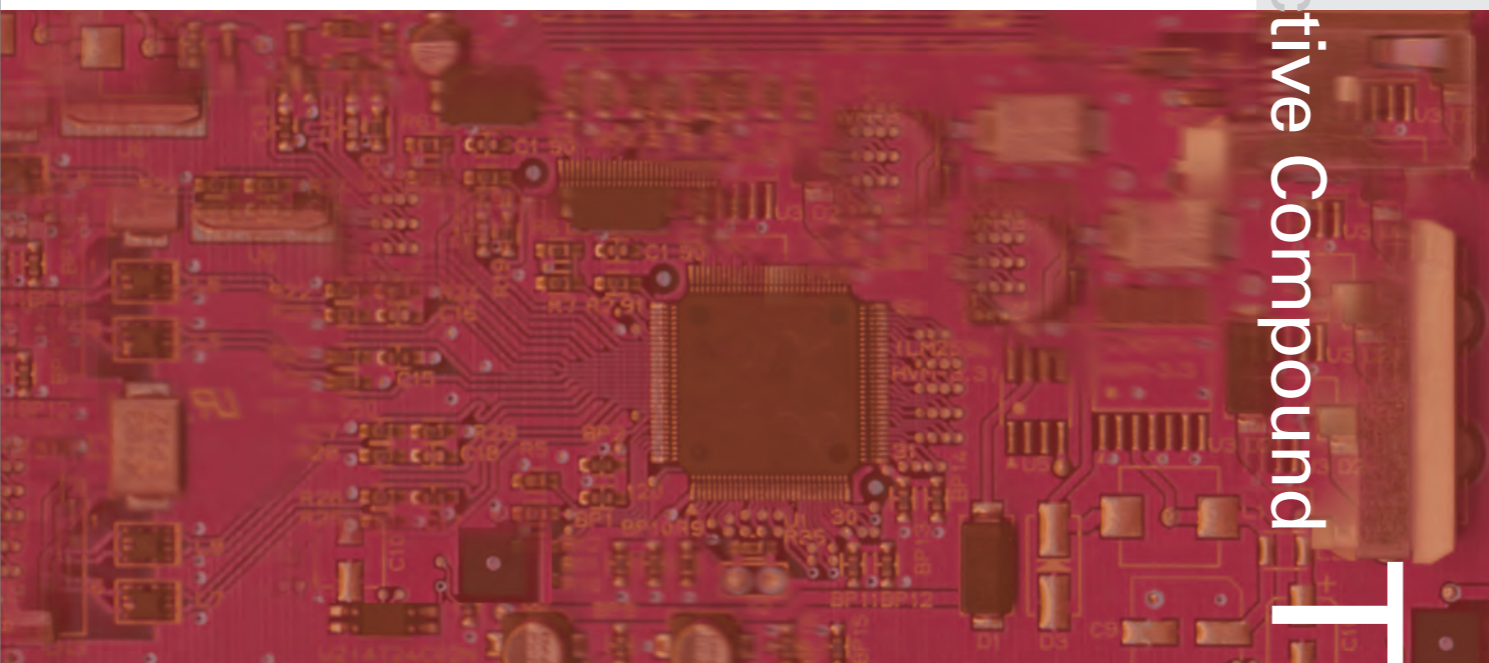


TG 200 シリーズ

非シリコン熱伝導性グリース

高热伝導・低熱抵抗

- TG200シリーズは、非シリコンの熱伝導性グリースです。
- シロキサンなどの揮発分がなく、耐熱性に優れます。
- 最高6W/m・Kの熱伝導率、0.05°C/Wの熱抵抗の特性を持っております。



● 一般特性

特性	TG221	TG240	TG260	試験方法
熱伝導率 W/m・K	2	4	6	定常法 (ASTM D5470)
粘度 Pa・s	110	180	280	E型粘度計 (3rpm)
ちょう度	300	280	210	JIS K 2220
離油度 %	0	0	0	JIS K 2220
体積抵抗率 Ω・cm	>10 ¹²	>10 ¹²	>10 ¹²	JIS C 2101
最小膜厚 μm	5	30	30	荷重500kPa
熱抵抗 °C/W	0.05	0.10	0.10	
備考	薄膜塗布可能	塗布性良好	高热伝導率	—

(当資料に記載された特性値は代表値であり、規格値ではありません。)

Thermally Conductive Compound TG200 series

TG 200 シリーズ

非シリコン熱伝導性グリース

高热伝導・低熱抵抗

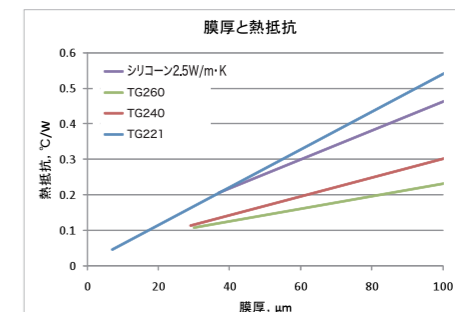
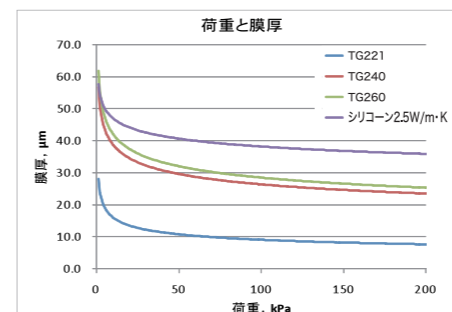
特徴
非シリコン・薄膜塗布・低熱抵抗

● 低荷重薄膜化が可能

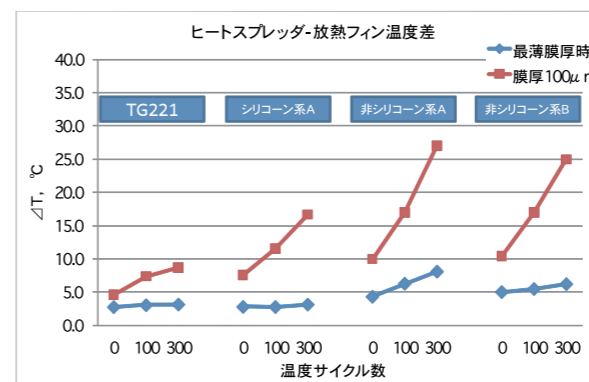
- TG221 (2W/m・K)は軽い荷重でも良く拡がり膜厚を薄くすることができます。
- TG240 (4W/m・K)、TG260 (6W/m・K)は薄膜化が難しい高热伝導タイプですが、2.5W/m・Kより薄膜化が可能です。

● 薄膜化による低熱抵抗が可能

- TG221は軽い荷重でも良く拡がり膜厚を薄くすることができます。
- 膜厚を薄くできる場合はTG221が好適です。
- TG240、TG260は膜厚が厚い場合でも熱抵抗の上昇が少なく良好な熱伝導を保ちます。



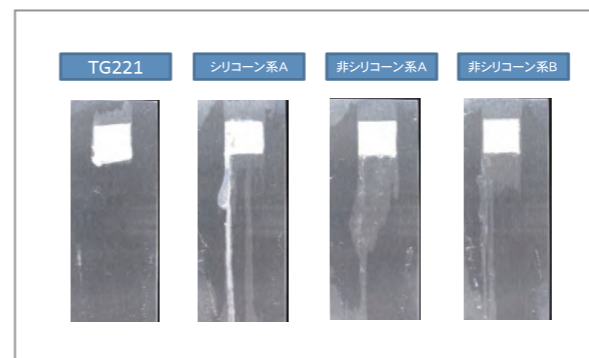
TG221の熱伝導特性



評価方法
実際の使用状態に合わせ、発熱体と放熱フィンにグリスを塗布して温度を測定した。

結果
TG221はヒートスプレッドと放熱フィンに塗布した際の温度差ΔTが少なく熱伝導特性に優れていることが分かります。

TG221 垂直設置時の垂れ落ち



評価方法
実際の使用状態に合わせ、アルミ板にグリスを塗布し、垂直設置して温度サイクル試験(-40°C⇔125°C)を行った。

結果
TG221はしみだしや垂れ落ちが少なく、垂直設置時のグリス抜けが少ないことが分かります。

※この製品は日本データマテリアル株式会社が製造しています。